

町長のしごと日記



～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～
【全国のお母さんたちへ熱戦を届ける・・・】

例年より早く桜前線が津軽海峡を渡り、山々の木々も緑を増すようになり、本格的な春を迎えております。

前浜では、ウニ漁も始まり、養殖昆布の間引き作業も佳境を迎えております。

今年も6月20日ごろから本格的な昆布の収穫が始まり、前浜が一番賑わいを見せる季節となります。今年の豊漁を期待するばかりです。

4月8日(水)に、友好町の長野県木曾町の新たに就任された加藤町長が当町を表敬訪問で訪れ、意見交換をするとともに、町内の昆布種苗施設などの町の施設を見ていただきました。今後も友好の絆を深めてまいります。

4月14日(火)から北海道の道路や漁港関連団体などの総会があり、4月16日(木)には、北海道町村会の「第80回定期総会」がホテルポールスター札幌で開催され、総会后、道庁の幹部の方々との意見交換会に参加しました。

4月19日(日)には、「北海道福島会総会」(会長鎌田博喜氏)が東京都内のアルカディア市ヶ谷で開催され、関東方面に在住の福島町出身の方々とは久々に再会し、あいさつの中で福島町の近況を報告させていただきました。

ただ、当日はアクシデントに見舞われ、仕事の関係で朝一番の飛行機で新千歳空港から羽田空港に向かう予定でしたが、搭乗予定の飛行機が急遽、欠航となり2便遅れで会場に入ることとなり、何とか懇親会の途中で参加することができました。

なお、遅れての到着ではありましたが、懇親会の中で、さまざまな方々のお話をお聞きし、改めて、参加者の皆さんの故郷への強い思いを肌で感じる大切な時間をいただきました。これからも故郷の応援団として、ご支援願います。

4月20日(月)早朝に、東京都葛飾区の九重部屋を訪問し、九重親方と協議し、今年の夏合宿は8月4日(火)から8月15日(金)の期間で開催することといたしました。九重親方はじめ力士たちからも福島町での夏合宿を楽しみにしているとのお話をいただきました。

また、同日、羽田空港から新千歳空港に向かい、その日の夜にHBCラジオ「5丁目STATION アキトム! (3スタ生)」の放送に生出演をさせていただきました。番組の中でアキこと小橋亜樹さんとトムこと中野智樹さんへ、今年も「するめ大使」&「イカトンビ応援団長」を委嘱してまいりました。早いもので両名への辞令交付も10年目を迎えております。

また、番組では、岩部クルーズの状況や5月10日(日)の「母の日」に開催される第32回女だけの相撲大会の参加状況などをお話しさせていただき、番組を通じて福島町のPRをさせていただきました。

5月9日(土)、SUMOシンポジウムが開催され、大阪観光局の溝畑宏理事長から「土俵から世界へ～多様性と地域をつなぐSUMOの未来～」をテーマに基調講演をいただき、その後、するめ大使の小橋亜樹さんを交えて「スポーツツーリズムと地域創生」と題し、パネルディスカッションを行いました。溝畑理事長(当時、自治省の職員)とは、私が昭和60年に道庁研修でご一緒して以来40年のお付き合いです。

翌日の5月10日(日)母の日には、第32回女だけの相撲大会が開催され、全国から参加したお母さんたちの熱い戦いが伝統ある鏡山公園の土俵で展開され、カーネーションと共に福島町での熱戦の様子が、全国で活躍し頑張っているお母さんたちのもとへ届けられました。